

このニュースレターは
神奈川トヨタが
発行する情報紙です。
ぜひご覧ください。

NEWSLETTER

KT

PRESS

2018 Vol.91

Contents.

- Executive Interview : 株式会社 不二 WPC 様
- わたしたちの取り組み

- お役立ち情報
- インフォメーション

撮影地：相模川 弁天橋





Executive Interview

エグゼクティブ
インタビュー

no. 90

このコーナーは神奈川トヨタのお客様である経営者の方にお話を伺うコーナーです。

株式会社 不二 WPC 代表取締役社長

下平 英二 様

相模原市南区の工業地区にある株式会社不二 WPC。機械部品や金型などの表面に施す特殊処理で、モータースポーツ界をはじめ、工業・医療・食品業界など広範囲に進出しています。代表取締役社長の下平英二氏にお話を伺いました。

■独自の固有技術で社会貢献

——サラリーマンを辞めて起業されたとか。

生まれも育ちも名古屋で、就職先も地元の産業メンテナンスの総合会社。営業職でした。顧客から「金型をクリーニングしたい」という依頼を受け、航空機の塗料だけを取り除く機械をアメリカから輸入し、エージェントとして展開する仕事をしていました。しかし日本でもいい機械を作っている会社があり、名古屋で機械販売をしていると聞き、その販売会社である名古屋の不二機販と、東京・江戸川区にある不二製作所に縁ができました。ここでWPC技術の開発者に出会ったのが31歳のとき。それから5年後、サラリーマン生活に限界を感じた僕は会社を辞め、WPC処理を中部圏以外にも広めてみたいと会社を設立することになりました。設立時に資金面で協力してくれたのが不二製作

所と不二機販の両社で、親会社となっています。

——WPC処理とは、どういう技術ですか？

「WPC」は「Wide Peening and Cleaning (幅広く、打ちつけて 清掃する)」または「Wonder Process Craft (不思議な、驚くべき 工程の 特殊技術)」の略です。金属の表面に花粉レベルの数10ミクロンの粒子を高速衝突させて微細なくぼみ(ディンプル)を作り、表面層だけを強化する加工です。金属にWPCを施すと、滑りがよくなるために金属疲労が少なく



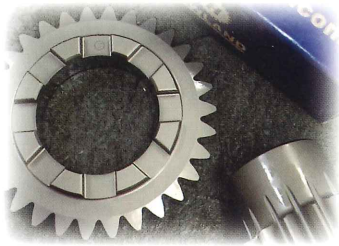
小麦粉の付着抑制処理

なり、耐摩耗性・耐焼付き性が向上し、耐久性が強化されます。ドリルや切削用具に施せば寿命が長くなるので、結果としてコストダウンとなります。

■幅広い分野へ 様々な技術を提供

——長持ちする技術が裏目に出て、会社設立当時は苦勞したようですが。

1997年に創業し、金型や製作工具を扱う工業分野を狙って営業に回ったのですが、寿命が延びるということは、成果が出るまで時間がかかるということで、短期に資金が回収できなかつたんです。半年を待たずに資金がショートし始めました。真っ暗な気持ちになっていた頃、モータースポーツの分野でWPC処理が採用されて、なんとかなりました。モータースポーツの世界では、パワーとそれに負けない強化と軽量化を目指していますし、



金属の性能を向上させる WPC 加工。 自動車から幅広い分野へと躍進中。

結果が短期間ではつきり出ます。工業分野とまったく違ったレスポンスのよさに救われました。レース関連を皮切りに、自動車関係の仕事へと繋がっていきましました。今では工業、医療、食品と幅広い分野に技術を提供しています。

— 現在注目しているのは食品分野とか。

WPC処理の特性の一つに、滑りやすくなるという効果があります。物が転がりやすくなるので、ラインが渋滞しないとか、粉が付着しにくくなるというメリットが生まれます。これはコーティングではなく、金属に直接加工を施す技術であるために、劣化したコーティング剤が剥がれ、食品に混入するリスクがなくなります。また、高精度で熱影響が少なく、摩擦や摩耗を低減できる「超短パルスレーザー加工」によって、カッターの切れ味を向上させることができます。

今は物を長く使って廃棄物を減らし、環境負荷を軽減させるという潮流になっていますから、衛生管理に厳しい食品工場で複合的に当社の技術を使っていただけだと思います。

— この取材中にも様々な分野の方が来社されているようですが。

幸いなことに問い合わせは多く、展示会に出るとぐんと件数は跳ね上がります。うちは17人しかスタッフがいませんから、先方からお越しいただけるのはありがたい。当社は駆け込み寺といいますが、課題解決型企業で、当事者が気づかないものを

見つけて、具体的手段を提案する、という形式。ですから、開発部門の方が手詰まりを感じて、相談にいらっしゃるといことが多くなります。

例えば、剥がれにくい「DLCコーティング」という技術はWPCの次に直感で導入したのですが、金属表面に炭素の薄膜を作ることで、耐摩耗性が上がり、部品の耐久性の向上が見込めるもの。この前処理としてWPC処理をするなど、いろんな技術を組み合わせて使うこともありますから、専門性の高いうちのスタッフを信頼していただき、相談されることは誇りです。研究のトレンドに接することで、市場の傾向も把握でき、次の予想もしやすくなります。

— スタッフはどのようにして集めたのですか？

特に募集をかけたことはないんです。僕が自らヘッドハンティングすることもありますし、「入社したい」と自ら来てくれる場合や、勤務しているスタッフの知り合いだったりすることも。人材は宝ですから、お金をかけて育成するのは必然。仕事外でも、自分自身が後悔しない、いい人生を生きて欲しいと思っています。振り返って、後悔するような選択をしないよう、重要な場面に直面したときには「その選択で本当にいいのか？」と問いかける

株式会社 不二WPC

〒252-0331
神奈川県相模原市南区大野台4-1-83
TEL:042-707-0776 FAX:042-707-0779
<https://www.fujiwpc.co.jp/>

とか、僕の方でもモラルを示すことが大切だと思います。

— 利益を考えたりすると、会社として難しいことも起こると思われませんが。

考えてみると、自分自身の脱サラの動機が、体裁ではなく事実を素直に実現していけば実績が上がるはずと思ったことでした。そこから始めていったのがよかったです。そこから始めていったのがよかったです。お金儲け目的でやっても、あまりいいことはないという気がするのです。確かに、人材育成やいい設備を備えるためのお金は欲しい(笑)。でも、創業21年目となったこの会社、僕がいなくても優秀なスタッフが事業趣旨を共有し、自主的に動いてくれています。彼らに安心して任せることができるのが、何よりの自慢です。



<インタビューを終えて>

小麦粉をふるう機械の網目にWPC処理を施すと、滑りがよくなるために、時間短縮となり、さらに廃棄する量が抑えられる。DLCコーティングをしたハサミの切れ味を体験させていただくなど、豊富な実例を交えてお話をさせていただき、とても興味深い時間を過ごすことができました。サイトに詳しい実例がたくさん載っていますので、興味のある方はぜひ！